



News

1

住宅ストック循環支援事業補助金、最終の受付開始 住宅のエコリフォームなどに補助

国土交通省は、住宅ストック循環支援事業補助金の第3回交付申請書の郵送受付を平成29年8月1日からスタートした（ただし、エコ住宅への建替え〈注文〉は除く）。受付期間は平成29年9月7日（郵送・必着）で、今回の申請受付が今年度の最終となる。

この事業は、住宅のエコリフォームや良質な既存住宅の購入などに対して補助を行うもの。住宅のエコリフォーム

では、1戸当たり30万円（耐震改修を行う場合45万円）を上限として、開口部や外壁、屋根・天井、床などの断熱改修をはじめ、設備のエコ改修などを対象として補助を実施する。

今年度の予算は約250億円となっており、7月31日17時時点で実施見込み額は140.9億円、実施見込み率は56.4%である。また、6月末の交付申請の登録状況では、エコリフォームの累計は5万7373戸となっている。

News

2

真空断熱材の注目度高まる 断熱リフォーム提案に活用

真空断熱材を活用したリフォーム用の断熱パネルが注目を集めている。旭ファイバーグラス(株)では、平成29年7月21日から真空断熱材(VIP)を用いた「リフォエコVIP(ビップ)」を発売した。

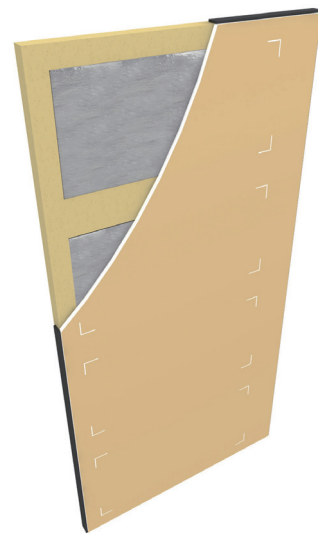
真空断熱材は、気体による熱伝導を限りなくゼロに近づけるため、より薄い厚さでも優れた断熱性能を発揮する。「リフォエコVIP」は、グラスウール断熱材に圧縮プレスをした高密度ボードと真空断熱材を複合化した商品。厚さは18mmで、既存の室内壁の上にビス止め、または接着剤で施工するだけで断熱性能を高めることが可能。約6畳間の壁2面(窓2カ所)の工事込みの設計価格は約60万円(内装仕上げ費用は除く)となっている。

一方、(株)LIXILでは、真空断熱材を採用したリフォーム用の断熱パネル「ウォールインプラス」を販売している。石膏ボードと真空断熱材を一体化したもので、接着剤を使用してパネルを壁に圧着させるだけの簡単施工で、断熱性能を向上できる。現場でカットして使用できる規格パネルも用意。同社では、この「ウォールインプラス」

などを活用し、一部屋まるごと断熱改修する「ココエコ」を展開しているが、コストの目安は1畳当たり10～15万円(工事込み)となっている。

そのほか、パナソニック(株)エコソリューションズ社でも、真空断熱材を用いたパネルを活用した「パナソニック内貼断熱システム」を提案している。

真空断熱材については、現場での加工性や価格面での課題があるものの、各社の商品開発により課題も解消されつつある。断熱リフォームをより手軽に行なえるアイテムとして、ますます注目度が高まることになりそうだ。



(株)LIXILでは、真空断熱材を採用したリフォーム用の断熱パネル「ウォールインプラス」を販売

注目のニュース

国土交通省

先駆的空き家対策モデル事業の採択団体、27団体を決定 官民連携による先駆的な空き家対策の取組を支援

(一社)ZEH推進協議会

(一社)ZEH推進協議会が始動 ZEHを建設・販売する地域工務店を支援

京セラ(株)

世界最軽量クラスを実現したリチウムイオン蓄電システムを開発 AIを搭載したHEMSと連携可能

パナソニック(株)

玄関周りを広範囲に確認できるテレビドアホンを開発 広角レンズをカメラ玄関機に搭載

YKK AP(株)

郵便ポストと組み合わせ可 機能ボールとしても活用可能な大容量宅配ボックスを発売

(株)ダイケン

戸建て住宅用大容量宅配ボックスを発売 床面をアンカーで固定するだけの簡単施工を実現

リフォーム評価ナビからのお知らせ

リフォーム評価ナビでは2種類のバナーを用意しています。【リフォーム評価ナビのバナー】貴社への安心感・信頼感の向上にお役立てください。【リフォーム問診票のバナー】お客様がリフォームポイントを自分で診断できるコンテンツのバナーです。ニーズの掘り起こしにお役立てください。